



平成29年5月26日 立川市広報課

送付文書 計3枚

報道機関 各位

## 講座「交通事故犯罪とは何か どう防ぐか

～被害実態と予防を考えよう」を開催します

たちかわ市民交流大学では、市民企画講座を開催しております。

連日ニュースで報じられる交通死傷事故は、毎年5,000人弱の死者をもたらす、日本最大の刑法犯罪です。交通事故の実態を知り、安全について考える講座です。

取材ならびに記事掲載のほど、よろしく願いいたします。

## 記

1. 講座 「交通事故犯罪とは何か どう防ぐか ～被害実態と予防を考えよう」
2. 対象 一般市民（市外在住の方も可）
3. 日時 7月1日・8日 土曜日、午後6時30分～8時30分 全2回
4. 場所 女性総合センター
5. 講師 白岩 祐子さん（東京大学大学院 専任講師）
6. 定員 30人（申込順）
7. 費用 無料
8. 申し込み 立川市生涯学習推進センター（TEL 042-528-6872）  
申し込み受付時間 8：30～17：15（月曜～金曜）

※別添チラシをご参照ください。

---

【問い合わせ】 立川市生涯学習推進センター 担当：五十嵐

TEL 042-528-6872

---



たちかわ市民交流大学

# 交通事故犯罪とは何か・どう防ぐか

～被害実態と予防を考えよう～

講師： 白岩祐子さん

(東京大学大学院人文社会系研究科社会心理学講座専任講師)

開催日時： 2017年7月1日(土)、8日(土) 計2回

開催時間： 18:30～20:30 各回とも

各回テーマ： 裏面参照

会場： 女性総合センター・アイム5階第3学習室

申込先： 立川市生涯学習推進センター 電話 042-528-6872

受付： 2017年5月25日開始

定員： 30人

受講料： 無料



ねらい

連日ニュースで報じられる交通死傷事故は、阪神・淡路大震災の犠牲者数にも匹敵する5,000人弱の死者を毎年もたらしている日本最大の刑法犯罪です。しかし、事故の実態は意外にも世に正しく知られていません。これまで被害にあった人はどのような経験をしてきたのか、日本の法律や行政はどのように対処してきたのか、何がいまの課題なのかについて、犯罪と被害の実態を各種データにもとづいて検討している講師が犯罪心理面から分析し、どうしたら交通事故を防げるかを参加者とともに考え、話し合いながらその対策について議論します。

主催 たちかわ市民交流大学市民推進委員会

たちかわ ☆きらきらカード 適用講座

## 講師：白岩祐子さんのプロフィール

東京大学大学院・人文社会系研究科・博士課程修了（2014年3月、社会心理学博士）

東京大学・大学総合教育研究センター・特任助教（～2016年3月）を経て

東京大学大学院・人文社会系研究科・社会心理学研究室・専任講師（現在に至る）

### 講師からの予習用推薦書

「いのち・未来へ」いのちのミュージアム アートヴィレッジ

「子どもの命を守る分離信号」長谷智喜 生活思想社

「10000人の交通死者」読売新聞大阪本社社会部編 新風書房

### 各回の講座内容予定

|    |             |             |   |
|----|-------------|-------------|---|
| 1回 | 7月<br>1日(土) | 交通被害の<br>実態 | 「交通戦争」と呼ばれた時代から「自動運転化」目前といわれる現代まで、道路交通で起きている事故の知られざる実態を、被害者の観点からの実例と統計にもとづいて解説する。 |
| 2回 | 7月<br>8日(土) | 交通事犯の<br>予防 | 交通事犯の予防策について、個人（ドライバー）にできること、行政（道路の設計）がすべきこと、という2つの側面から考える                        |

## 会場への行き方

### 女性総合センター・アイム



- (1) JR立川駅北口より徒歩7分  
(歩行者デッキを伊勢丹、高島屋、パレスホテルを過ぎ、右折した最初の左のビルに入り、エレベーターで5Fへ)
- (2) 多摩都市モノレール立川北駅より徒歩6分

※専用駐車場・駐輪場はありません。